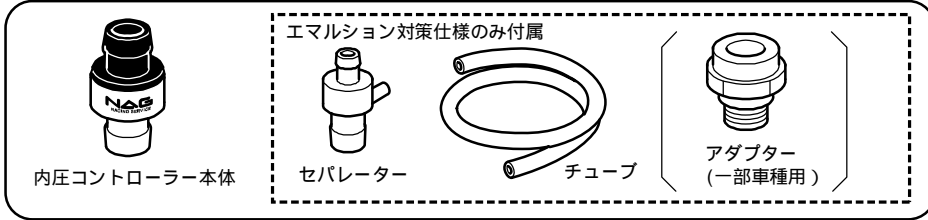


取付作業前にこの説明書をよくお読みください

この度はNAG SED 内圧コントロールバルブをお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書は内圧コントロールバルブの4輪車への一般的な取付方法をご案内するものです。取付をおこなう車種により取付方法がこの説明書と異なる場合があります。
また、製品の仕様（グレード）によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなってください。

1 セット内容

最初にご確認ください。



2 お客様でご準備いただくもの



3 取り付け場所の確認 / 取り付け準備

(エマルジョン対策仕様のみ)

純正PCVバルブを外します

セパレーターは純正PCVバルブの代わりに装着します。

取付場所を確認の上、現在ついている純正PCVバルブを取り外してください。

PCVバルブの取付場所は大きく分けて次の2種類があります。

1. ヘッドカバー上部側面のグロメットに差し込まれている。
2. ヘッドカバー上部側面にネジ込まれている。
(取付にはアダプターが必要です。)

純正PCVバルブに使用しているホースバンド、パッキン類はセパレーターの取り付けの際に再使用いたします。

エマルジョン対策仕様の注意事項

セパレーターはエマルジョンの堆積を防ぎますが、発生そのものを抑えるものではありません。また、コントロールバルブだけ装着してもドレン効果はありませんので必ずセパレーターとコントロールバルブはセットでご使用ください。

ブリーザーホースをカットします

ブリーザーホースをカットした箇所にコントロールバルブを取付ます。

ブリーザーホースはエンジンのヘッドカバーから出ていますが、その戻り先は大きく分けて次の4種類があります。

1. スロットルボディに直接戻っている。
2. スロットルとクリーナーBOXを繋ぐ、コンチューブ（蛇腹管）の中央に戻っている。
3. クリーナーBOXにホース差込口があり、エレメント内側に戻っている。
4. クリーナーBOXにホース差込口があり、エレメント外側に戻っている。

コントロールバルブの取付位置を決定し、安全に十分配慮をしてカッターナイフ等でブリーザーホースを切断してください。

(エマルジョン対策仕様)

セパレーターとコントロールバルブ間を結ぶ付属チューブが余裕を持った取り回しになるように取付位置をご考慮ください。

4 内圧コントロールバルブの取り付け

セパレーターの取付 (エマルジョン対策仕様のみ)

純正PCVバルブを外した跡にセパレーターを装着します。

ホースバンドは再使用します。

アダプター仕様

アダプターを使用する車種の場合、PCVバルブを外した所にアダプターを装着後、セパレーターを挿入して下さい。

パッキン類を純正PCVバルブ固定に使用している場合は再使用します。

内圧コントローラーへのチューブは図の角度内で接続してください。

チューブの接続 (エマルジョン対策仕様のみ)

コントロールバルブとセパレーター間を付属チューブで接続します。

コントロールバルブの取付

カットしたブリーザーホースの間にコントロールバルブを装着します。

コントロールバルブの取付方向を厳守して装着してください。(下図参照)

セパレーターへのチューブを接続します。(エマルジョン対策仕様のみ)

エンジン側

エアクリーナー側

エアクリーナー側が黒色です。

取付向きを確認してナイロンストラップで固定します。

コントロールバルブの固定はナイロンストラップでおこなってください。金属バンド等で過度の締付をおこなうと動作不良の一因となる恐れがあります。

以上で取り付けは終了です。再度取付方向、部品の固定を確認してご使用ください。ご不明の点はお問合せください。

定期清掃について

本品はエマルジョンの処理は出来ますが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1~2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお願いします。

清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いして清掃してください。汚れがひどく上記の方法で除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。